

2015年6月18日

株式会社ストラタシス・ジャパン

ダイハツ工業株式会社

3Dプリンターによる「コペン」のDRESSパーツを共同開発

株式会社ストラタシス・ジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：片山 浩晶、以下ストラタシス）とダイハツ工業株式会社（本社：大阪府池田市、代表取締役社長：三井 正則、以下ダイハツ）は、ダイハツが発売している軽オープンスポーツカー「コペン」のDRESS-FORMATIONの拡がりを模索する中で、3DプリンターによるコペンのDRESSパーツを共同開発し、市販化に向けた検討を開始した。

今回、デザイン開発したDRESSパーツは、3Dプリンターメーカーの「ストラタシス」と、自動車メーカーの「ダイハツ」に加え、有限会社 ツナグ デザイン の「根津 孝太」氏、アーティストであり3Dクリエイターの「そんじゅんじえ SUN JUNJIE」氏による共同開発。コペンのDRESS-FORMATIONの考え方をさらに広げる、自分らしいクルマの表現方法の一つとして、バンパーやエンブレム周りを加飾するためのDRESSパーツ「Effect Skin」を開発した。

Effect Skinは、アルゴリズムを利用して、お客様自身が世界に一つのDRESSパーツをデザインし、その3次元データをもとに、3Dプリンターで実際に商品とする「DDM（ダイレクト・デジタル・マニュファクチャリング）」となる。

【それぞれの役割】

<ダイハツ工業>

骨格+樹脂外板構造の新型コペンで実現した「DRESS-FORMATION」のさらなる拡がりを実現すべく、外板などの図面情報をサードパーティに公開していた。

<ストラタシス・ジャパン>

3Dプリンターの性能向上などにより様々な素材の加工が可能となる中で、個人のお客様が3Dプリンターを身近に感じられるモノの提供を模索し、ダイハツとの連携を通じて、気軽に自動車の外板部品をカスタマイズできるパーツ製作への取組みに着手。今後、お客様がデザインしたDRESSパーツのデータをもとに、商品化へ向けた同社3DプリンターによるDDM（ダイレクト・デジタル・マニュファクチャリング）によるパーツ製作を担当。

<SUN JUNJIE>

ダイハツとストラタシスの取組みについて、3Dクリエイターとして参画。

アルゴリズムックデザインを用いて視覚的なエフェクトを再現し、DRESSパーツをデザインした。今後、市販化に向け、パラメトリックモデル^{*}を公開し、お客様自身が世界に一つの自分だけのDRESSパーツをデザインすることを可能にする。

^{*}: 3Dモデルを数値(パラメーター)によって定義し、数値を操作することでユーザーがデザインのバリエーションを作成できる

<根津 孝太>

新型コペンの開発段階からアドバイザーとして参画。今回のプロジェクトでは、異なる業種同士のコラボレーションによる相乗効果を狙い、プロジェクト推進を行った。

なお、今回共同開発したDRESSパーツは6月24日～26日に東京ビッグサイトで実施される「設計・製造ソリューション展」のストラタシスブース（ブース番号：東4-49）で展示し、25日には、同ブース内にてSUN氏と根津氏による開発ストーリーなどのトークショーが行われる。

【設計・製造ソリューション展概要】

日 時：2015年6月24日（水）～26日（金）10:00～18:00（26日のみ17:00まで）
場 所：東京ビッグサイト
主 催：リード エグジビション ジャパン（株）

以 上